

特別号

2025-2026 年度 Vol. 4

2025 年 11 月 21 日（木）認証状伝達式ならびに祝賀会
おりづるタワーにて

認証状伝達式



土肥ガバナー祝辞



本日は、広島新世代ロータリークラブの認証状伝達式が、このように盛大に、そして地区内ののみならず日本各地から多くのロータリアンの参加の下、行われることを心よりお喜び申し上げます。

今年の9月1日に、広島新世代ロータリークラブは国際ロータリー(RI)より加盟の承認を受けました。そしてフランチェスコ・アレツツオ会長が認証状に署名し、地区に送られ、地区ガバナーである私が署名して、これを手渡す、それが本日の認証状伝達式です。

私は、この伝達式が持つ意義として大きく分けて3つあると考えています。

1番目は“お祝い”である、ということです。地区で13年ぶりに新クラブが誕生した、という祝賀の意味があると思います。

2番目には、新しいクラブの“お披露目”という意味を持っています。この2710地区に、そして地域社会にお披露目をするということです。

3番目には、集まった方々がこの新しいクラブの誕生を祝い、“激励する”という意味があります。新しいクラブを励まして、仲間になったことを歓迎したいと思います。

私は、「ロータリー運動はクラブが基本」だと思っております。これまで各クラブを訪問しましたが、どのクラブのそれぞれの歴史と伝統を持ち、独自のクラブ風土の元、活動されています。諒訪会長を中心に、皆さん之力で、地域の皆さんに信頼される、そして尊敬されるような素晴らしいクラブを作っていただきたいと思います。

それから、UNITE FOR GOOD。ロータリーは、世界で約36000クラブ、115万人とつながるネットワークです。この信頼できる仲間と、「よいことのために手を取りあって」行動しましょう。

本日はおめでとうございました。

大ノ木パストガバナー祝辞



先ず以て、この度の広島新世代RCの誕生を、心よりお慶び申し上げます。この朗報を耳にした時、私は大きなショックを受けたことが忘れられません。会員とクラブが減少するさ中、やり様によっては未だ増強の道はある。やる努力と情熱を忘れ、怠っていたことが問題であって、その責任の多くは私達シニアリーダーが負うべきだったのではないかという、痛恨と猛省がありました。そのことに気付かせて下さった諏訪会長と新会員の皆様に、改めて深甚なる敬意と感謝の誠を捧げます。

広島新世代RCは、文字通り新しいタイプのクラブと聞いています。その新しさを今後の運営に生かし、独善ではなく、孤立でもなく、むしろロータリーの友愛を生かした光明となって、当地区の行く手を明か明かと照らし出す存在となられるよう願っています。

今のロータリーで最も希薄になっているのが、人ととの善意を根底にした「連帶」ではないでしょうか。私見になりますが、その原因は「D.E.I.」の忘却にあります。「D.E.I.」は、その思想の良質性、高貴性、人類愛の故に、ロータリーのアイデンティティとなって発展に寄与してきましたのに、その事を忘れたロータリアンが余りに多くなり過ぎて、その結果、連帶意識が希薄になったような気がしてなりません。此の度の快挙が連帶の復活と強化に一石を投じるものとなればどんなに素晴らしいことか、私の期待は膨らむばかりです。

持続可能な社会の実現のためには、「レジリエンス（resilience）」は不可欠だと言われています。「S.D.G.」の17の目標と169のターゲットの中に繰り返し出てくる言葉であって、「強靭性」「強靭」と訳されていますが、「変化に対するしなやかさ」といった意味もあるようです。

新生広島新世代RCは、何となく此のレジリエンスの思想に共通するバックボーンを持って生まれてきたような気が、私にはしてならないのです。類型的な従来のRCにはない、変化に強いしなやかさを持った、まさにニュータイムのRCとしての大道を歩まれるよう期待をして止みません。

私達は、広島新世代RCを仲間として迎え、共にロータリー運動に邁進することを誓って、祝辞と致します。

本日は誠におめでとうございます。

嶋村パストガバナー祝辞（RID2580）



本日、輝かしいチャーターナイトを迎えた廣島新世代ロータリークラブの20名のチャーターメンバーの皆さん、誠におめでとうございます。また、74クラブ目となる新クラブが設立された事、土肥慎二郎ガバナーをはじめ地区内のロータリアンの全ての皆様にお祝い申し上げます。

私と創立会長である諏訪昭浩さんとは、実父諏訪昭登パストガバナーを通じて、知り合い、親しくお付き合いさせていただいております。諏訪創立会長とは日頃よりロータリーの未来について語り合う事も多く、その過

程で新クラブ設立への気分が高まってきたのではないかと思います。諏訪会長は以前より「ロータリーは自己教育運動」であると熱く語っています。その思いを形にし、粘り強く行動して誕生したのが、広島新世代ロータリークラブであります。クラブ運営はペーパーレス、キャッシュレスで、例会運営は隔週で、リアルとハイブリッドで開催しています。正に今日のロータリーに入会しやすいロータリークラブの体系そのものだと思います。しかし、今までの既存クラブに比べて柔軟なスタイルを取りながらも、「人を育てる」という機能に着目して、誰に対しても優しく人のためになれる良質なロータリアンを育てることをクラブの機能として大切にしている事は、日本の新クラブ設立の中でも、注目に値するロータリークラブの誕生であると思います。

そして、原爆ドームに隣接するおりづるタワーのスタイリッシュな例会場は、ロータリーをこよなく愛する創立会長の熱い思いに賛同して集まったメンバーが、語り合い、学び合い、次なる人である青少年育成活動を発信する恰好の場になるはずです。これから広島新世代ロータリークラブの成長と発信力に大いに期待しています。

【Take Action for Rotary Future ロータリーの未来のために行動しよう】

【Reach Out for World Peace 世界の平和のために手を差しのべよう】

諏訪会長挨拶



皆様、本日は、広島新世代ロータリークラブの認証状伝達式ならびに祝賀会に、このように多数ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、設立にあたり、多くの方々から多大なご寄付をいただきました。発足間もないクラブが意義ある活動を行っていく上で、ご寄付は非常にありがたく、心から御礼を申し上げます。

さて、当クラブは、既存クラブと比べると異なることが多いように思います。

まず、日本のほとんどのクラブはスポンサークラブを持って設立されていますが、当クラブはスポンサークラブを持ちません。後でお話しするように、新しい奉仕実践や運営の方法を試してみようというクラブですから、諸事項を勘案した結果、スポンサークラブを持たずに設立することにいたしました。

次に、固定事務所を構えるクラブが多い中、当クラブは固定事務所を持たず、固定費の最小化を図りました。

奉仕分野に関しては、五大奉仕すべてを均一に行うのではなく、まずは「クラブ奉仕」を基本とし、対外的には「青少年奉仕」を特に重視することといたしました。また、広島に縁があり、この、原爆ドームの隣という素晴らしい環境で例会を開催するクラブとして、できれば長崎や沖縄のクラブと共に世界平和に貢献したいと考えています。

運営に関しては、2016年に認められたクラブ運営の柔軟性を取り入れ、オンライン併用の隔週例会を、飲食の提供なしで開催します。メークアップは無料です。固定費を最小化したため、会費は非常に低く抑えることができました。

このような新しい試みは、決して、これまで当たり前とされてきた考え方ややり方を否定するものではなく、会員減少が止まらないロータリーの現状の中で、そうではないことも試してみようではないかということあります。

創立会長として準備を進める中で、私が最も大事にしてきたことは、ロータリーの友愛の心です。多様性を受け入れ、誰に対しても悪意を抱かないでいつも笑顔で接するし、また、同じロータリアン同士なら、それを相手にも期待できると思うのが、ロータリーが追い求める理想です。

どこかのクラブに属しているロータリアンが、退会せずに別のクラブを作る準備を始めるということは、私も当初は謀反のような行為に感じ、躊躇しましたが、いろいろ調べますとそうではない事がわかりました。ただ、ロータリーの友愛を壊さないためのやり方が大切なだけです。スポンサークラブがない設立ですから、私がこれまで属していた広島西ロータリークラブに対して事前の相談や理事会承認は必要ありませんでしたが、ご迷惑を掛けてはならないので、事前に十分な説明を試み、また、会員のいわゆる引き抜きは全くしておりません。しかし、設立方法などに前例が少ないので手伝って、憶測に基づく様々な逆風が吹き、ロータリーの友愛の心の存在を疑いたくなる事態が起ったことは、非常に残念であり、私の不徳のいたすところであると反省しております。

さて、当クラブの一丁目一番地は「クラブ奉仕」です。なぜロータリークラブを退会するのか。RIもアンケート調査を行っていますが、簡単に言うと、面白くない、自分のためにならないからだと思います。これは、クラブが本来果たさなければいけない、会員の成長を支援するということが不十分であること、そして、そんな中で、会員たるロータリアンが、自己研鑽を忘れ、自らの成長を実感できないこと、こういうことだと思います。

良い人間、良い職業人、良い奉仕人になるための自己研鑽は各ロータリアンの義務であり、それを支援するのはクラブの義務であることは、たとえば1932年の手続要覧に明記してありますが、RIが主導する大規模奉仕に焦点が当てられすぎて、近年、そのようなロータリーの根幹を成す哲学が伝えられなくなっています。この原点に戻り、「面白い」と思っていただけるクラブ、良い人間、良い職業人になれるクラブを目指すことにいたしました。この基本となるのが「クラブ奉仕」です。

そして、そこで芽生えた奉仕の心、人に優しくする心を、その時代時代の様々な問題解決の主役となるであろう新世代を育てる活動に、「青少年奉仕」として注いでいくことを特に重視していきます。

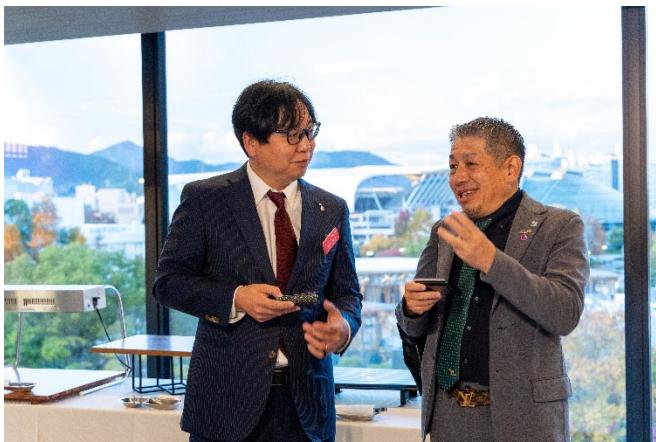
新しい取り組みや目論見がどうなるかはわかりませんが、この試みは、きっとこれからロータリーのためになると確信しております。

当クラブの運営内規にこう規定しています。「広島新世代ロータリークラブは、「泥沼に美しい蓮の花を咲かせようとする人々」の集まりです。」小堀憲助さんの言葉ですが、クラブ奉仕を基本として、ロータリー哲学を身につけ実践できる良質なロータリアンを育てるクラブであろうという決意を込めています。

どうか皆様、前例を見ないクラブかもしれません、当クラブとその会員を、ロータリーの仲間として、温かく受け入れていただき、見守っていただきますことを、創立会長として心からお願い申し上げ、以上、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

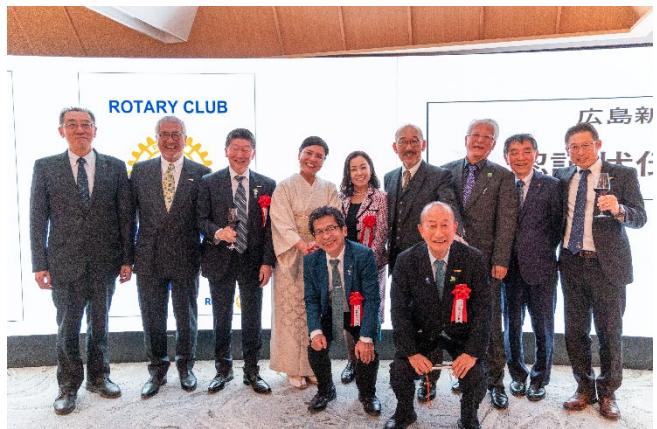




祝賀会







認証状伝達式ならびに祝賀会の動画をご覧下さい。

<https://hnewgen.org/%e5%ba%83%e5%b3%b6%e6%96%b0%e4%b8%96%e4%bb%a3%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%82%bf%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%82%af%e3%83%a9%e3%83%96%e3%83%81%e3%83%a3%e3%83%bc%e3%82%bf%e3%83%bc%e3%83%8a%e3%82%a4%e3%83%88/>